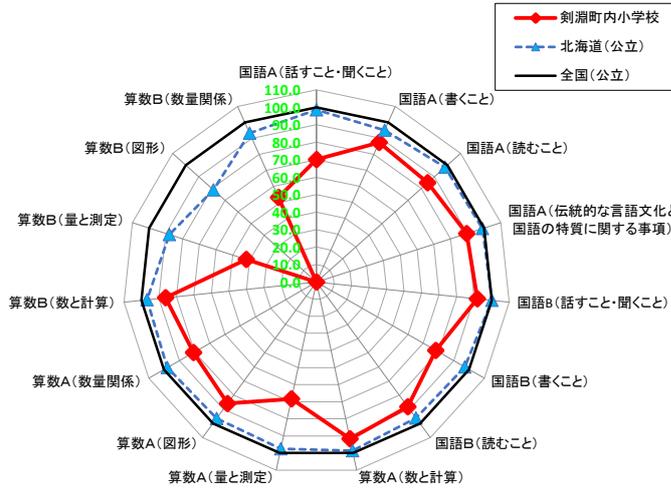


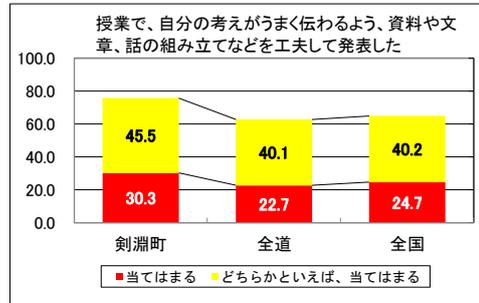
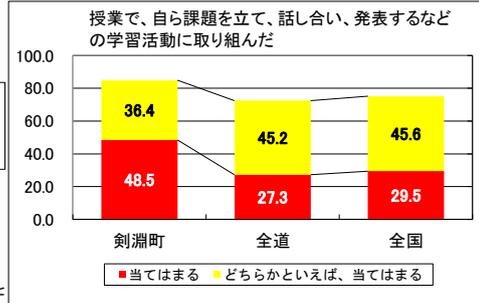
■ 剣淵町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、児童数: 33人)

【教科全体の状況】

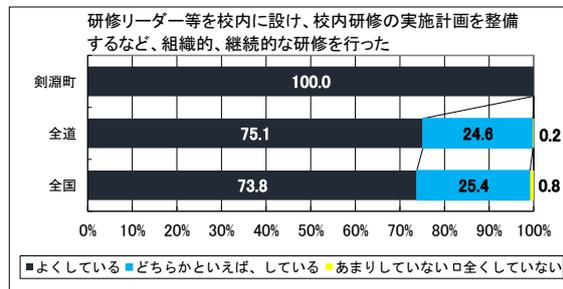
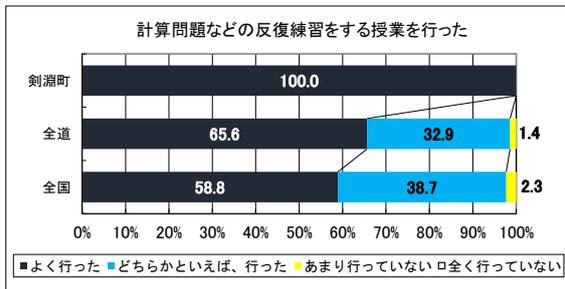
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数A・Bでは、「数と計算」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、意見がうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫するよう指導するとともに、発表する場面を位置付けたことにより、学習内容の定着が図られ、国語Bの「話すこと・聞くこと」で全国に近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で、自ら課題を立て、話し合い、発表するなどの学習活動に取り組んだ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算問題などの反復練習をする授業を行い、児童が基礎的・基本的な知識や技能を身に付けたことにより、算数Aの「数と計算」で全国に近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。 ○ 研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常の授業改善に向けて、組織的、継続的な研修等を行ったことにより、課題の設定や解決に向けた話し合い、発表などの学習活動が充実したと考えられる。

【剣淵町の学力向上策】

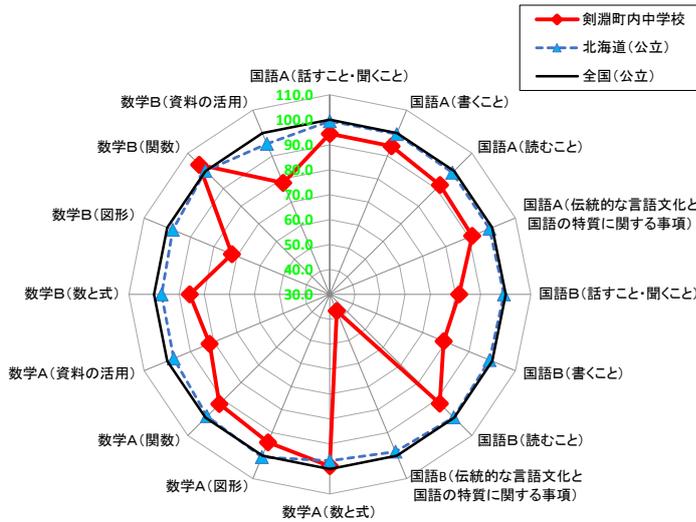
- ◎ 外国語活動における補助指導員の配置などによる英語教育の充実
- ◎ 全学級に実物投影機を設置するとともに、活用に向けた実践研究を行うなど教育の情報化の推進
- ◎ 小中高連携教育推進協議会が中心となった学校間の情報交流や共同の研修活動などの小中高による一貫教育の推進

■ 剣淵町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 26人)

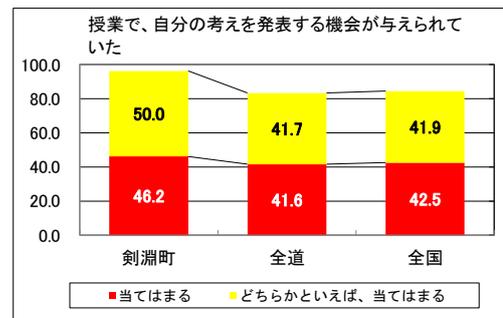
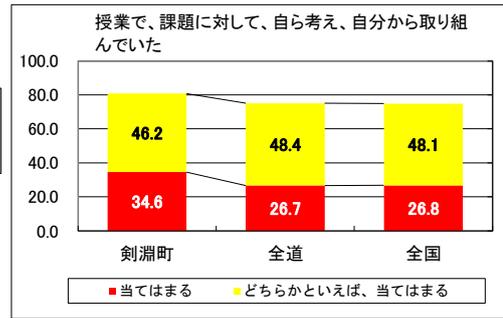
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

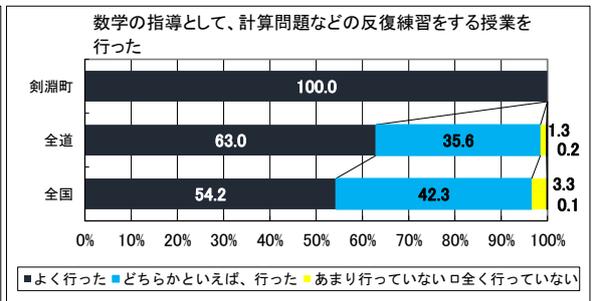
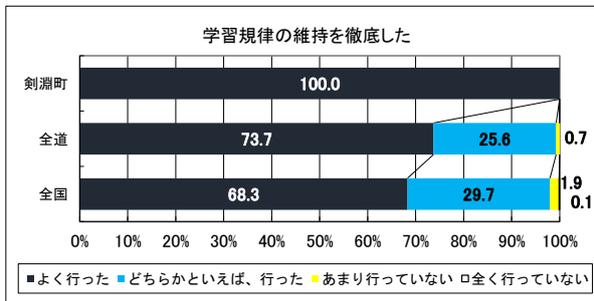
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、Bでは、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「数と式」で全国に最も近く、Bでは、「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を計画的に行なったことにより、学習内容の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で、課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律の維持を徹底するとともに、生徒一人一人の発言の機会を確保したことにより、生徒が安心して学習に臨むことができたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律の維持を徹底した。 ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が課題の解決に向けて主体的に取り組むことができるよう授業改善を図ったことにより、数学Bの「関数」で全国を上回ったと考えられる。

【剣淵町の学力向上策】

- ◎ 外国語活動における補助指導員の配置などによる英語教育の充実
- ◎ 全学級に実物投影機を設置するとともに、活用に向けた実践研究を行うなど教育の情報化の推進
- ◎ 小中高連携教育推進協議会が中心となった学校間の情報交流や共同の研修活動などの小中高による一貫教育の推進